

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>本事業は、事業終了 3～5 年後に達成されるべき上位目標として「事業対象地域の保健状況が改善する」ことを掲げた。1 年次にあたる本事業の活動は計画通りに進んでおり、期待した成果が発現しつつある。2 年次以降も、住民組織の活動を引き続き支援することにより成果が発現し、事業目標が達成されれば、3～5 年後に上位目標が達成されると考える。</p>
(2) 事業内容	<p>本事業は、ミャンマー国中央乾燥地に位置するパコク郡の西部 40 村において、地域住民が理想とする「健康な村 (Healthy village)」が彼ら自身の主体的な取り組みを通じて実現される過程を支援することで、「地域住民の健康が増進されること」を目指した 3 年間事業の 1 年目 (フェーズ 1) にあたる。本事業は、まず世界保健機関による「健康」の定義「完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない」ことを地域住民が理解し、村独自の「Healthy Village」の概念を考える機会を提供した。同時に、「Healthy Village」の具現化に向けた活動を推進する仕組みの構築と人材育成を支援した。活動の実績詳細は別添 1 を、事業の内容及び効果に関する写真は別添 2 を参照されたい。</p> <p><b>(ア) 住民参加による「Healthy Village」を推進するためのマネジメント体制の構築および強化</b></p> <p>事業開始後の 2012 年 3～4 月にかけて、郡ならびに事業対象村でアドボカシーミーティングを開催し、パコク郡保健局をはじめとする事業関係者と受益者に対し、活動方針・内容を共有した。翌 5～6 月には、第一回「Healthy Village」ワークショップ (4 日間) を対象全 40 村で開催 (総人口の約 12% にあたる住民が参加) し、参加者は「健康」の定義について理解を深めると同時に、健康を阻害する課題の把握と、解決の優先順位を決めた。また、「Healthy Village」を実現するための活動を推進する組織「Village Health Development Committee (VHDC)」と 4 つの副委員会 (保健、水と衛生、救急処置/患者搬送、生計向上) が村ごとに結成され、計 954 名 (男女比 53%、47%) の地域住民が自薦・他薦でメンバーとして選出された。選出されたメンバーに対し、先行事業で Good Practice に選ばれた 4 村の経験を学ぶスタディーツアー、直面した問題や改善方法をメンバー同士で共有する VHDC 中間ミーティング、各委員会の役割や活動計画を共有し、村の将来理想像 (Dream Map) を作成する第二回「Healthy Village」ワークショップを開催することで、VHDC を主体としたマネジメント体制を強化した。また、本事業終了時の 2013 年 1 月には、全 40 村の VHDC メンバー参加の下、郡行政官、県/郡保健局長、援助関係者らを来賓に迎え、VHDC 年次総会を開催した。同会では、各村 VHDC メンバーが 1 年間の活動進捗状況や課題を共有した他、他村のメンバーと改善方法などが活発に議論された。</p> <p><b>(イ) 住民の基礎的な保健知識の向上</b></p> <p>「Healthy Village」コンセプトの構成要素である基礎保健知識の向上を目指す活動は、VHDC 副委員会の 1 つである「保健教育委員会」メンバーを中心に推進されている。まず調査手法研修を受講したメンバーが中心となって住民</p>

の基礎保健知識を把握する調査が実施された。その後ワークショップを開催し、基礎保健知識調査結果と管轄地域補助保健センタースタッフの助言をもとに、住民に対する健康教育活動などのアクションプランが委員会メンバーにより策定された。また、アクションプランが効果的に推進されるよう保健教育教材（バナー、紙芝居、ゲームカード、ハンドブック）が作成された他、全メンバー200名を対象とした保健教育トレーニング(3日間)も実施された。その内容については、急性呼吸器感染症、下痢、デング熱、栄養、個人衛生などの基礎保健知識の他、行動変容コミュニケーションや教材の使用方法などが取り上げられた。なお、主なアクションプランの実施は次フェーズ以降を予定しているが、住民を対象にした保健教育などいくつかの取り組みを、既に自発的に開始している村もある。

#### (ウ) 安全な水と衛生に関する環境の改善

「Healthy Village」コンセプトの構成要素である水と衛生環境の改善は、VHDC 副委員会の1つである「水と衛生委員会」メンバーを中心に推進されている。まず調査手法研修を受講したメンバーが、総世帯数の16%を対象に、村内の安全な水や適切なトイレ使用などに関する情報を把握するための衛生状況調査を実施した。その後開催されたワークショップにおいて、上記調査結果と管轄地域補助保健センタースタッフの助言をもとに、トイレ建設や環境衛生活動などのアクションプランが策定された。また、全委員会メンバー200名を対象とした水と衛生トレーニング(2日間)が実施され、安全な水の確保、個人衛生、環境衛生や行動変容などのテーマが取り上げられた。尚、当事業は適切なトイレに対する理解と利用促進を目的に、各村に1基ずつモデルトイレを、さらに事業対象地内の13校の学校でトイレを建設した。委員会メンバーが児童を対象に、手洗い方法などの保健教育を実施し、適切な利用促進にも取り組んだ。なお、主なアクションプランの実施は次フェーズ以降を予定しているが、村の清掃活動などいくつかの取り組みを、既に自発的に開始している村もある。

#### (エ) 基礎ヘルスケアへのアクセス強化

「Healthy Village」コンセプトの構成要素である基礎ヘルスケアへのアクセス強化は、VHDC 副委員会の1つである「救急処置・緊急患者搬送」メンバーを中心に推進されている。今期は、各村で緊急性の高い疾病や、その搬送状況について現状を把握するミーティングが実施され、蛇咬傷、やけど、骨折、めまいなど13項目に対する応急処置の研修ニーズが高いことが確認された。また、メンバーにより緊急患者の搬送システム構築に向けたアクションプランが策定され、応急処置の方法、搬送基金やシステムの開始時期などについて協議された。その他、基礎保健スタッフや准助産師ともミーティングを持ち、基礎ヘルスケアの提供側における現状把握にも努めた。

#### (オ) 住民の生計活動に関する知識と技術の向上

「Healthy Village」コンセプトの構成要素である住民の生計向上については、VHDC 副委員会の1つである「生計向上」メンバーを中心に推進されている。今期は、調査手法研修を受講したメンバーが、事業対象地域の主要経済活動である農業及び畜産に関する現状把握調査を実施した。また農業及び畜

	<p>産分野の活動を実施している他援助団体の経験を学ぶスタディーツアーが実施された。その後開催されたワークショップにおいて、生計向上に向けたアクションプランがメンバー自身により策定され、住民を対象とした生計向上研修の開催やモニタリング開始時期及び頻度などが協議された。</p> <p><b>(カ) 住民参加による各村個別ニーズの具現化活動（特別コンセプト）</b>  「Healthy Village」コンセプトの1つである各村個別ニーズの具現化活動は、各副委員会の代表者からなる VHDC を中心に進められている。今期は全 40 村において、具体的な特別コンセプト活動内容を検討するミーティング（2 日間）が開催され、延べ 9,800 名の住民が参加した。「健康」や「Healthy Village」の概念、さらに各副委員会の活動をどう「Healthy Village」の実現に繋げていくかなどが参加者間で共有された。その後、特別コンセプト活動案として、小学校やコミュニティセンター建設、村内電化、給水設備整備、道路修繕などが挙げられ、議論が進められた。</p>
<p>(3) 達成された効果</p>	<p>3 年後のプロジェクト目標達成に向けて、1 年目（フェーズ 1）にあたる本事業では、大きく 4 つの効果を達成することが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Healthy Village」活動を推進する VHDC 及び 4 つの副委員会が、事業対象全 40 村で結成され、「Healthy Village」を推進するためのマネジメント体制を構築することができた。</li> <li>・VHDC 及び 4 つの副委員会メンバーを対象にしたスタディーツアーや各種ミーティング開催を通じ、VHDC のマネジメント能力を強化することが出来た。</li> <li>・VHDC 副委員会の 1 つである水と衛生委員会メンバーを対象とした水と衛生トレーニングの事前事後テスト結果を比較したところ、正解率が 54% から 88% へと 34 ポイント向上したことを確認した。</li> <li>・VHDC 副委員会の 1 つである保健教育委員会メンバーを対象とした基礎保健知識トレーニングの事前事後テスト結果を比較したところ、正解率が 48% から 80% へと 32 ポイント向上したことを確認した。</li> </ul> <p>その他の効果として、VHDC 及び副委員会メンバーにおける女性の割合が、当初目標としていた 40% を超える 47% となったことが挙げられる。これまで社会参加の機会がなかった、もしくは限られていた女性たちが、村の意思決定ならびに活動に関わろうと、自薦他薦でメンバーの一員となった積極的な姿勢（ならびにそれを受け入れた村の姿勢）は特筆に値する。</p>

(4) 持続発展性	<p>本事業は3年計画の1年目にあたることから、持続発展性について言及するのは時期尚早であるものの、今期は特に以下に示す通り、持続発展性の確保を念頭に置いた活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本事業対象全40村のVHDC及び副委員会メンバー自身が、村の現状を把握する調査を行い、解決すべき課題を優先付けし、課題解決に向けたアクションプランを策定したが、その一連の流れは、3年後の事業終了時まで「Healthy Village」が実現し、事業終了後もその成果が持続的に発展するために欠かせないステップである。1年目にあたる本事業で、このステップを全40村で着実に踏むことが出来たことにより、持続発展性をより高める土台が形成出来たと考える。</li><li>・トレーニングを受講した水と衛生委員会や保健教育委員会メンバーの知識向上が確認されたが、それは次フェーズの活動推進に大きな正の影響を持つと考える。例えば、メンバーが実施する地域住民へのトレーニングや活動を通じ、地域の水と衛生環境が改善され、地域住民の保健知識が向上することで、健康希求行動が促進されることが期待される。</li><li>・本事業で各村に一基ずつ建設されたモデルトイレは、建設技術に加え、適切な利用方法やメンテナンス方法を学んだ水と衛生委員会メンバーが中心となり維持・管理される。また学校に建設されたトイレは既に郡教育局へ譲渡されており、当局ならびに各学校管理委員会が、水と衛生委員会メンバーからの技術的指導を受けながら適切に維持・管理していく。</li></ul>
-----------	---